

越前竹人形

えち ぜん たけ にん ぎょう

日用品から人形へ。
竹文化は暮らしと心を豊かに温かく包む。

軽くて丈夫、その上、年月を経るごとに色が変わって味が出る竹製品。その発祥はかなり古く、竹を武器として使った時代にまで遡ると言われています。特に福井では、厳寒の気候に耐えた良質の真竹や孟宗竹が多く見られ、様々な竹製品が生まれたのは、ごく自然なことだったと推測されています。

かつては福井の至るところにあった竹藪。そこから生まれた竹製品は、職人によって創意工夫され、昭和20年後半には飾りや小さな人形も作られるようになりました。それが現在の『越前竹人形』につながるのです。それと

同時に、福井出身の作家、水上勉氏の同名小説で、その存在は全国的にも知られるようになったのです。

竹の節や曲線、弾力性を生かし、繊細な細工を施した美しい竹人形。それは一見すると単純な作りと感ずるかもしれませんが、年月を経ると、竹全体がアメ色に変わり、どこか懐かしく心が和むような雰囲気漂わせてきます。人の心をほんのり温かくする魅力を持った『越前竹人形』は、自分用に、または大切な人への贈物としても最適な製品といえるでしょう。

ここがポイント

アメ色に変わる竹の不思議を楽しむ。

「竹は縁起物や祭事用具としても利用され、最近では竹炭・竹酢の効力も注目されています。つまり竹は日本の生活に密着した、日本文化の象徴とも言えますね」と師田氏。私たちの周りにも竹カゴや壁掛けなど竹製品があります。ちなみに竹人形を雰囲気あるアメ色にするには、ほこりを防ぎケースに入れるのが一番。乾燥を防ぐための少量の水も忘れずに。(写真上:師田黎明作)

製造者／越前竹人形協同組合
住 所／福井県坂井市丸岡町上久米田63-1
T E L / 0776-66-5666 F A X / 0776-66-4828
<http://www.takeningyo.com/>

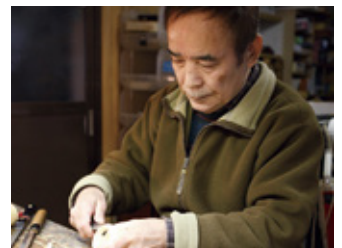
平成6年10月14日指定



(写真左:二代目 尾崎欽一作)

製造者／福井竹芸 尾崎欽一工房
住 所／福井県福井市松本3-10-13
T E L / 0776-23-4770
F A X / 0776-23-2502

平成6年10月14日指定



製造者／竹工芸 創竹 山田信雄
住 所／あわら市青ノ木44-21
T E L / 0776-73-1645
F A X / 0776-73-1645

平成30年3月20日指定

